

雄志・八千浦中学校区 同和教育だより

<雄志中・八千浦中・諏訪小・戸野目小・上雲寺小・高士小・八千浦小 共同発行>

[平成28年9月 No. 6]

学んで、見えてくるもの

国は、日本国内の主な人権課題として、下の17個を挙げています。

- 女性 ○子ども ○高齢者 ○障がいのある人 ○同和問題 ○アイヌの人々 ○外国人
- HIV感染者・ハンセン病患者等 ○刑を終えて出所した人 ○犯罪被害者等
- インターネットによる人権侵害 ○ホームレス ○性的指向 ○性同一性障がい者
- 北朝鮮当局によって拉致された被害者等 ○人身取引（トラフィッキング）
- 東日本大震災に起因する人権問題

これだけ多様な人権課題が私たちのまわりにあるわけですから、多くの方が何らかの形で「人権」について悩まれたり、苦しまれたりした経験がおありではないかと思います。

中でも「同和問題」は、「我が国固有の人権問題」とされ、結婚、就職問題を中心とする、痛ましく、許しがたい差別事案がいまだにあとを絶たないのが現実で、まさに「今、ここ」にある重大な人権問題」です。

しかし、内閣府が行った「人権問題に対する関心」についての調査（2012年）では、「障がいのある人（「関心がある」と答えた割合39.4%）」「子ども（38.1%）」「インターネットによる人権侵害（36.0%）」「高齢者（34.8%）」「東日本大震災に起因する人権問題（28.4%）」などと比べると、「同和問題に関心がある」と答えた人の割合は13.4%と低くなっています。なぜなのでしょう。

先号に引き続き、同和教育の現地学習会に参加された方の感想を紹介します。

◇深く歴史を知ることができました。結婚は、今でも多くの方がすんなりいかにないことにショックを受けました。

◇今までは、「寝た子を起こさない方が良い」と考えたこともありましたが、お話をお聞きして、違うと思いました。もっと研修の場が必要と思います。

——学ぼうとして、初めて見えてくるもの。学ばないと、見えないもの——。特に同和問題には、そのことを強く感じます。

「真実を、正しく知ること。」「今も差別に苦しんでいる人、差別と戦っている人とかわり、その言葉や姿から学ぶこと、感じること。」そのことが、この問題についての関心を高め、ひいては問題を解決していくための第一歩であると考えています。



学びの秋。私たちは以下のような学びの場を計画しています。

<同和教育講演会>

「ぬくもりを感じて」

講師：中倉茂樹さん ※昨年度に続いて上越（徳島県同和地区青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局）

※2日間開催

11/14(月) 雄志中にて

11/15(火) 八千浦中にて

<人権教育講演会>

「カミングアウトの勇気～性同一性障害などへの支援を通して～」(仮題)

講師：松縄誠司さん(諏訪小、雄志中卒業生)
網谷勇氣さん(NPO法人パブリック)

11/21(月) 雄志中にて

時間、内容等の詳細は後日、改めてご案内を差し上げます。ぜひ、ともに学びましょう。



《各校の実践紹介 ⑤ 高士小学校》



じぶん大好き ともだち大好き 優しさいっぱいの高士小学校をめざして

高士小学校では、相手の気持ちを考えて行動できる子、自分のよさや友達のよさを見つけ認められる子を目指し、縦割り班活動を中核として様々な活動を行っています。また、道徳の時間や同和学习の時間では、いじめや差別、偏見の実態を学び、それらを見抜く目、許さない心づくりを大切にしています。

子ども祭り：1学期の一大児童会行事です。縦割り班ごとに出店をつくり、子どもたち・保護者・保育園のお友達みんなで楽しむお祭りです。

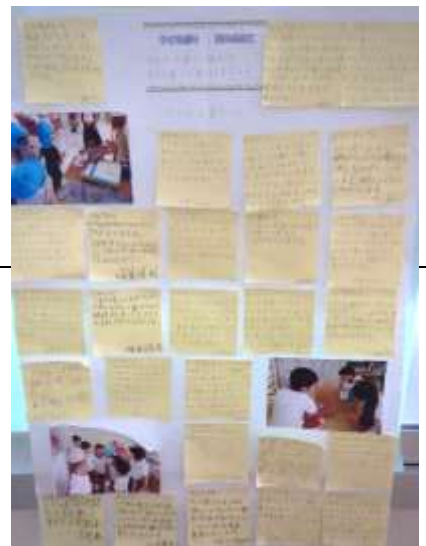


「どんな出店にしようかな」班のみんなで相談中。たくさんの意見を1つにまとめ、いざ準備開始！



高学年が優しく声をかけ、みんなで協力して準備を進めます。低学年もがんばりました。

最初に立てためあてと今の自分を振り返ります。「もっとこうなりたい」目標を持って準備をします。



班のみんなからたくさんのありがとうメッセージをもらいました。笑顔が増え、班の団結力も深まりました。



いざ本番！お客さんのことを考えて声をかけたり説明したり…もちろん自分たちも楽しみました。



振り返り。一緒にがんばってきた友達にありがとうを伝えます。褒められるって気持ちいいね。

同和学习公開・講演会

6月、全学年の同和学习を保護者・地域住民に公開しました。



6月、保護者・地域住民・職員を対象に、同和教育講演会を行いました。

